



団体賞



愛知県 刈谷市立小垣江小学校

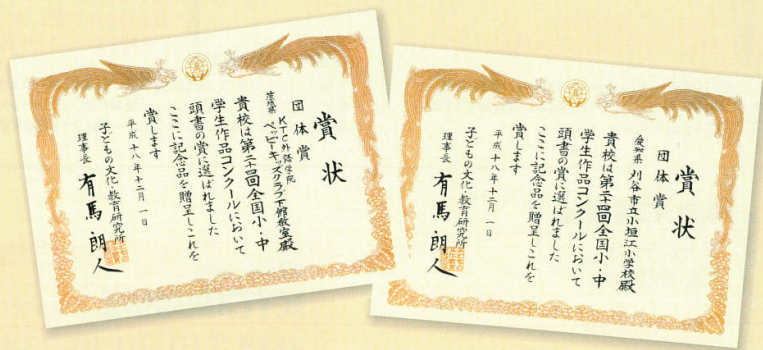
国語部門では、「具体例を分かりやすく示したうえで、感じたことを読み手に伝える」という文章構成能力が学年に追いついていない作品や、「読み手に伝えるため」に必要な原稿用紙の使い方などが身につけていない作品が目立ちました。

そんな中でも、小垣江小学校からは毎年多数の作品を応募いただき、コンスタントに受賞作品が出ています。作品の平均レベルも高く、先生方の丁寧なご指導や児童一人ひとりの努力がうかがえます。今後もさらなる優秀作品を期待したいと思います。



茨城県 KTC外語学院 ペッピーキッズクラブ下館教室

団体で応募してきてくれた作品の中には、「やらされている」ということが伝わってくる受身の作品もいくつかありましたが、この教室の子どもたちの作品からは、英語を楽しんでいるということがよく伝わってきました。スピーチの中には、「My Wonderful Teachers」というタイトルで、先生方のレッスンの楽しい様子を伝えてくれるものもありました。まず、どの教科でも「楽しんで」学ぶことが大切です。それが作品から感じられたこの教室が、評価の対象となりました。



顧問審査員特別賞

特別顧問 竹下 景子

今年で2度目の審査となりましたが、今年も、子どもたちの感性の素晴らしさには改めて驚かされました。

今回、顧問審査員特別賞に選ばれた秋吉美紅さんの「空の一人たび」は、初めて一人で飛行機に乗ったときの様子が目に見えるように伝わってきました。美紅さんが、どんなに目を輝かせて飛行機の窓の外を眺めていたかと思うと、思わず顔がほころびます。

また、田中瑞基さんの「瑞基版「ことわざカルタ」」については、どのカルタを見ても親子の微笑ましい様子が表れ、ユーモアがあふれ、使う人を楽しませてくれる作品でした。体を使って「ことわざ」を表現した瑞基さんは、楽しく「ことわざ」を覚えることができたのではないのでしょうか？

これからも、いろんなことを体験し、そしてたくさん感動し、さらなる成長を期待しています。



国語部門 空の一人たび

愛知県 愛知教育大学附属岡崎小学校 1年 秋吉 美紅

やったージェットコースターみたいだあ。どんなスピードがはやくなつてついにひこうきがういた。じめんから、ゆっくりひこうきにのりついに、ういていく。くもの上になかっている。からだだが、うしろにたおれた。でも、空にあがったら、たおれたからだだが、もともともつた。

さあ、くもの上にとつちやくした。下は、くもともみ。空のけしきのとおくのほうを見ると、あさはいのので、たいようのひかりにあたつて、いろいろな色があつた。空は、むらさきいろや、あおいろで、くもがいろいろ

飛行機によりやく乗れる喜び、一人で飛行機に乗ったという満足感や達成感が読み手に伝わってくる作品です。

飛行機が離陸し、上昇する「動き」に連動する、「わたしの体の動き」と、高揚する「心の動き」が読み手に伝わるように表現できています。

また、雲や空の色に刺激され、美紅さん独自の視点で、想像力がどんどんふくらむ様子がいきいきと書かれています。

「飛行機に乗る前」、「飛行機の中」、「飛行機から降りて」という場面の移り変わりの順序の中に、情景や美紅さんが感じたことがバランスよく盛り込まれています。

「空の一人たび」を終えた美紅さんの心の成長を感じさせる素晴らしい作品です。



生活科部門 瑞基版「ことわざカルタ」

大阪府 城南短大附属小学校 1年 田中 瑞基



レポート形式ではない作品としては、生活科部門で唯一の入賞作品です。ことわざを実際に体で表現し、写真に収めてレを作りしました。

思いにふけるお母さんの後ろで、無邪気におどける瑞基さんを収めた「おやの心子知らず」、お父さんと向かい合い、ペコリとお辞儀をしあう1枚は「したしき中にもれいざり」など、豊かな表現力あふれる作品に仕上がっています。ことわざをうまく表現するために、どのような場所で、どのような表情をするか。やかんなど、家にあるものを使って表現する様子はほほえましく、瑞基さんのひょうきんな性格が1枚1枚から伝わってきます。読み札には、ことわざの意味も添えてあります。



家族みんなで楽しくカルタをしている姿が目につく、瑞基さんのアイデアに脱帽させられた作品でした。「調べたことを自分なりに表現する」力は、今後の瑞基さんの学習においてとても役立つことと思います。これからも、瑞基さんらしい楽しい作品づくりを期待します。



いしの上にも
三年
なにをするにも、がまんやしんぼうをすれば、さいごには思いどおりになる